

新たな 利用価値創造に挑む ファインバブル

3/6 水
2019

これから加速する日本発の革新的新技術として注目されているファインバブルについて、基礎的・技術的な観点と、すでに事業化に成功している企業の具体例の両面から、さらなる応用展開の可能性を紹介します。

13:30~17:00
名古屋市工業研究所
管理棟4階 第2会議室



基調講演 13:35~14:35

「ファインバブル技術の基礎と応用、現状と今後の展開」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 上席イノベーションコーディネータ 綾 信博 氏

気泡は古くから研究され応用されてきた。最近になって、それまでの常識を覆してサブミクロン以下のサイズの気泡が安定的に存在することがわかるとともに、微小気泡(ファインバブル)の持つ様々な作用についても明確なものとして示されつつあり改めて注目されている。本講演では、ファインバブルの計測、性質・作用・効果、そして応用等について、これまでの取組と今後の展開を紹介する。https://www.aist.go.jp/aist_j/collab/coordinator/tsukuba.html



講演 1 14:45~15:35

「ループ流式OKノズルの原理と構造、及びOKノズル使用事例」

有限会社 OKエンジニアリング 代表取締役社長 松永 大 氏

ループ流式OKノズルの多方面についての応用事例について紹介し、ファインバブルの新技術の素晴らしさをお伝えします。特に、洗浄分野や工作機械分野などの工業関係について説明いたします。ファインバブルは新技術であり既存の技術を革新し始めています。これは産業革命に匹敵することです。ファインバブルを使用すると、省エネルギーとなります。ファインバブルは新エネルギーとして位置付けられるのではないのでしょうか。<http://ok-nozzle.com>



講演 2 15:40~16:30

「世界初の技術・・・ファインバブルの活用」

株式会社 富喜製作所 専務取締役 松本 琢史 氏

弊社はファインバブル事業の先駆けとして約42年の実績があります。その実績は医療をはじめ水産・農業・工業・排水・洗浄など、様々な産業分野で既に活用され、特に数年前からは【FB-GAS Solution】の用途開発が多くなってきています。また、ファインバブルシステムを活用導入することは、国連サミットで採択されました【持続可能な開発目標(SDGs)】への取り組みに繋がり、各産業分野での実績も広がっています。<http://fuki-ss.co.jp/index.html>

名刺交換会

16:30~17:00

参加費

無料

定員

70名

申込方法

下記参加申込書、または下記ホームページの参加申込書（word）に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXでお申込みください。
 ※受付完了後、メール等でご連絡いたします。
 連絡がない場合は、お手数ですが、お問い合わせください。

申込期限

平成31年 2月 28日（木）

**申込先
お問合せ**

公益財団法人名古屋産業振興公社 研究推進部 研究開発支援課（担当：岩田）
 Tel: 052-736-5680 Fax:052-736-5685
 E-mail : kakugi@nipc.or.jp
 URL : <http://www.nipc.or.jp/sansien/kakusin/info.html>

主催

公益財団法人名古屋産業振興公社 名古屋市工業研究所

交通アクセス

名古屋市工業研究所 管理棟4階 第2会議室※

名古屋市熱田区六番三丁目4番41号
<http://www.nmiri.city.nagoya.jp/access.html>

- ・地下鉄：名港線（金山駅から名古屋港行）
 「六番町」下車（3番出口）すぐ
- ・市バス：栄22系統（栄－港区役所）、幹神宮2系統
 （神宮東門－権野）等 「六番町」下車すぐ

※当日は会場へのエレベーターが改修工事の為ご利用できません。
 ご不便をおかけしますが、ご了承ください。



※切らずにこのままFAXしてください

「新たな利用価値創造に挑むフィンバブル」 参加申込書

公益財団法人名古屋産業振興公社 研究推進部 担当：岩田 宛て

FAX : 052-736-5685

会社名			業種	
所属・役職		氏名		
住所				
E-mail				
Tel		Fax		

ご記入頂きました個人情報、受付管理に使用させていただくとともに、今後、公益財団法人名古屋産業振興公社が主催・共催します展示会・講演会などのご案内をさせていただくことがあります。第三者に提供することはありません。